

子ども達の健全な成長のために!

1 インターネット使用の危険性を理解しよう

最近、携帯電話・スマートフォンやパソコンのみならずゲーム機や携帯音楽プレーヤーなどを利用してインターネットに接続し、中学生が被害に遭う事件が全国的に発生しています。また、無料メール・チャットでのやりとりが、いじめや人間関係のトラブルを引き起こすケースも多々報告されています。

【最近多いトラブル例】

(1)悪口・中傷の書き込みによるトラブル

掲示板、ブログ、メール、チャットなどに書き込んだ内容から、学級や学年・部活動内での仲間外れやいじめなどの深刻な問題に発展したケースがあります。ネット上での悪口・中傷は「名誉棄損・侮辱（刑法第230条・231条）」という犯罪です。

(2)なりすましメールによるトラブル

他人の名前を勝手に使用し、ブログやチャットに書き込んだり、わいせつな画像を仲間達に送信したりして、警察に摘発された事例もあります。

(3)メール中毒

メールをやりすぎると、そのことばかりが気になって、他のことがおろそかになり、中学生として大切な生活や学習に悪影響を及ぼす可能性があります。

保護者のみなさんは既にご存知かと思いますが、子ども達が健全な生活を送り、様々なトラブルに巻き込まれないようにするため、「中学生には、携帯電話を持たせない」という申し合わせのもと、山形市内の全中学校で指導しています。

また、前述のように、最近のゲーム機や携帯音楽プレーヤーは、インターネットやメール（機種によっては通話機能も）にも対応しているため、親の知らない間に、パソコンや携帯電話・スマートフォンと同様の行為を行っている危険性があります。ぜひ、どのように使っているのか、ご確認ください。特に「LINE」使用の是非については、別紙を参照の上、子ども達と十分話をしてください。保護者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

2 「いじめ」についてみんなで考えよう

最近「いじめ」により尊い命を自ら絶つというニュースをテレビ等で目にし、心を痛めている方々も多いのではないのでしょうか。本校でも、「いじめ」のない学校を目指し、定期的に学校生活アンケートなどを実施し子ども達との面談を行ったり、一中いのちの日や学級活動の時間などによりよい人間関係を築くための様々な取り組みを行ったりしながら、その実現に向け日々努力しています。2学期からは、生徒会と連携し、「いじめ」撲滅に向けて、更なる取り組みを実施する予定です。

そこで、この夏休みに、生徒達全員に「いじめ」をなくすための標語（※山形県青少年育成県民会議主催「いじめ・非行をなくそう」やまがた県民運動に応募します）を考えてもらい、その意識の向上を図りたいと思います。ご家庭でも「いじめ」について、ぜひ話題にさせていただき、生徒達が心身とも健やかに成長できるよう、今後ともご協力をお願いいたします。

LINE 安心安全ガイド - 保護者のみなさまへ -

LINEとは … LINEのサービスについて

LINE（ライン）は、スマートフォン向け*1の無料アプリで、アプリをダウンロードしている人同士であれば無料*2で通話・メールをすることができます。現在、世界では1億人以上、日本国内では国民の約3人に1人が利用しています。

SNSとは違い、誰でも見られる場所につぶやきや日記を投稿するようなサービスではなく、従来の電話やメールと同じようなことができるアプリだと考えてください。つまり、LINEは、見知らぬ人ではなく、家族や友達など、すでに知っている人とのコミュニケーションをするためのアプリです。



LINE 起動画面

*1 スマートフォンではない従来の携帯電話（ガラケー）やパソコン、ipad / ipod touch などインターネット環境にアクセスできる情報機器でも設定により利用可能です。

*2 ご利用の携帯電話会社にはインターネット経由のデータ送受信にかかる通信料（パケット通信料）が発生します。パケット定額サービスに加入されていない場合は、接続毎に料金が発生し、多額の請求となる場合があります。

電話帳を利用した友だち登録の仕組みについて

LINEの特徴の1つとして、スマートフォンの電話帳に登録している人の中でLINEを使っている人がいた場合に、LINEの中で「友だち」となり、手軽に連絡を取ることができる仕組みがあります。なお、LINEで「友だち」になる方法はいくつかあり、スマートフォンの電話帳を利用することは必須ではなく任意です。

- ・電話帳の利用は必須ではありません。登録時に利用しないことも選択できます。
- ・電話帳を利用する場合でも、スマートフォンの場合は電話番号と携帯電話用メールアドレス以外の情報（氏名・アイコン・住所・携帯電話用以外のメールアドレスなど）は利用していません。また、携帯電話（ガラケー）の場合は端末の電話帳収集は行っていません。

※ 名前・携帯電話用以外のメールアドレス・アイコン・生年月日・住所などその他の情報は利用しません。

※ 電話帳情報の利用は任意です。

電話帳を利用する方法以外で「友だち」になる方法について

- 1 LINE IDで検索 アカウント名とは別に、任意で設定できるLINE IDを検索することができます。LINEのIDは、ただのニックネームなどとは違います。IDの設定自体は任意ですが、一度設定すると変更ができません。また、そのIDさえ分かれば、LINEでID検索をしてトーク（メール）を送ることができてしまいます。そのため、LINE IDは、メールアドレスなどと同じような重要な個人情報だとお考えください。
- 2 ふるふる 「ふるふる」とは、位置情報（GPS機能）を利用して、ふるふる機能を起動させたときに目の前にいる人を検出する機能です。
- 3 QRコードの読み取り 各アカウントに対して発行されるQRコードを読み取る（または読み取ってもらう）ことで友だちに追加できます。

青少年利用者のトラブル事例

LINE は、正しく利用すると便利なツールとして利用できますが、使い方によってはトラブルにつながる可能性があります。現在多くの学校で、実際にトラブルが発生しており、先日新聞報道があった庄内地区中学校の件をはじめ、心配な事例が数多く報告されています。

見ず知らずの人と友だちになってしまったことによるトラブル

- ・見ず知らずの人と連絡を取ってしまい、実際に出会うことで事件や事故などのトラブルに巻き込まれる。
- ・個人情報を知ってしまったことによって、自宅に押しかけられたり、いたずら電話がきたり、個人情報を握られてお金を要求される。

学校の友だちなど知り合い同士のグループ内でのいじめトラブル

- ・複数人で一斉にトークをすることができる場所（グループトーク）で、悪口などの誹謗中傷を受ける。
- ・グループトークから退会させられ、仲間はずれにされる。
- ・トークやタイムラインに顔写真や他人に知られたくないことを掲載されて晒し者にされる。

迷惑メール業者トラブル → 迷惑メール業者から送られてくるメッセージに従って会員登録などをしてしまうことによる架空請求など

- ・会員登録や個人情報の返信などをしたことで、LINE やその他一般のメールに迷惑メールが多く送信されるようになる。

上記のようなトラブルに、子どもたちが巻き込まれないようにするためには、我々大人はどのようにすればよいのでしょうか？

まずは、LINE を使用することの是非について、お子さんと十分話し合うことが不可欠です。その上で、設定次第で回避できる部分は設定方法を教え、コミュニケーションの基本的なマナーやインターネットに潜む危険性についてお子さんと十分に話し合い、指導ください。そのためには、まず大人自身が使い方やネットマナーに関する知識を十分得ることが肝心です。その上で、間違いや事件・事故が起こらぬよう考え方や使い方を直接指導くださることを重ねてお願いいたします。

考え方

- ・ネット上には知識や人生経験が少ない青少年を狙っている危険な人がいることを理解させる。
- ・親や自分の周囲の大切な人たちを悲しませるようなことはしていけないことを理解させる。
- ・少しでも「後ろめたい気持ち」があるようなことは絶対していけないことを理解させる。
- ・ネットマナーとその重要性について、具体的な事例を挙げて説明し、十分理解させる。

使い方

- ・実際の画面を見ながら登録や設定を一緒に行い、正しい使い方を指導する。（次ページ参照）
- ・家族など信用できる相手とのコミュニケーションにのみ限定利用することを指導する。
- ・迷惑な書き込みなどは無視し、反応しない（絶対に返信しない）ように指導する。
- ・自分のメッセージに「既読」がついても、相手の事情を考えて返事等の催促などはせず、常に相手意識や思いやりを持つことが大切であることを指導する。

（以上、「LINE 安心安全ガイド」より抜粋し編集しました。）

もし使用させるならこれだけは… 設定編

～ LINEで絶対に必要な設定5つのポイント ～

1 初期設定時のアドレス帳送信は慎重に

まず LINE のインストール時に、あなたのアドレス帳（電話帳）が LINE のサーバーに送信される。LINE のサーバー上にあるデータベースと照合するためだ。アドレス帳の電話番号を基にして、LINE のユーザーがいると、友だち候補として表示されるしくみだ。アドレス帳の内容や電話番号が外にも漏れることはなく、他の用途には使用しないとしている。

しかしながら、アドレス帳が送信されてしまうことに、不安を感じる人もいるだろう。アドレス帳送信が嫌な人は、このステップを飛ばそう。友だちの登録が不便にはなるものの、ID の検索や直接会って登録（スマートフォンを振る操作）などから友だちになれる。また、アドレス帳送信→友だち登録は、後からもできるので、とりあえずは送信せずに様子を見るのもいいだろう。

2 「友だち自動追加」をオフに

初期設定では、自分のアドレス帳に登録している人が、自動的に友だちに追加されてしまう。これを防ぐには、「設定」→「プライバシー管理」→「友だち自動追加」で、「友だち自動追加」をオフにしよう（Android ではチェックマークを外す。以下同じ）。必要な場合は手動で追加できるので、通常は「オフ」にしておこう。

3 「友だちへの追加を許可」は絶対にオフに

初期設定ではオンだが、この状態だと相手のアドレス帳に自分の電話番号があると、自動的に LINE の友だち一覧に候補として表示されてしまう。こちら側のアドレス帳から削除した人でも、相手側に残っていれば表示されてしまうのだ。これを防ぐには、「設定」→「プライバシー管理」→「友だちへの追加を許可」をオフにしよう。

4 IDを設定している場合は「IDの検索を許可」をオフに

LINE 上の名前として「ID」を設定できる。ID があった方が、LINE で登録してもらうのに便利だが、まったく知らない人から登録される可能性もある。これを防ぐには、普段は ID で検索されないように設定を変更しよう。「設定」→「プライバシー管理」で、「ID の検索を許可」をオフにする。必要な場合だけオンにすればよい。

5 知らない人からのメッセージは「ブロック」で

知らない人、連絡を取りたくない人がいる場合は「ブロック」しよう。ブロックすると、相手からのメッセージや電話を遮断できる。相手にブロックしたことは伝わらないので、問題は起きない。ブロックするには、友だち一覧に表示されている友だちをタッチし、左右にスライド（スワイプ）させて「ブロック」を押す。Android では、友だち一覧で友だちを長押しすると「ブロック」のメニューが出てくる。元に戻したい場合は、「設定」→「プライバシー管理」のブロックリストで解除すればよい。

（2012年9月14日 読売新聞 ITジャーナリスト 三上洋氏による）

